

### アメリカ移民の話 3

大正五年（一九一六）に発行された青山哲四郎『亜米利加

土産』という本に、二つの歌が収録されています。（加州元祿ラッ

パ節〈移民の夢！理想〉）

一、牛島馬鈴薯王

▲日本を出で、拾余年、今は加州の大地主

秋や鈴虫無く頃は

ポテト―サックが山を築く

トットトットト、ト、ト。

二、長沢葡萄酒

▲見渡す限りはるばると、カリホルニヤの大平野

濃のランチは恥づかしや

僅か葡萄が五千町

トットトットト、ト、ト。

加州はカリフォルニア州のこと。

アメリカ移民で成功した日本人を理

想として、後から後から移民した人

たちが、自分も一旗揚げようと張り

切っていた様子がよくわかります。

「トツ」の部分は、歌詞はなくてラッ

パの音を口まねしたのでしよう。一

種の労働歌のようです。

大河ドラマ「八重の桜」第一回の

冒頭は意表を突くものでした。いき

なり南北戦争（一八六一―一八六五）

の場面から始まったからです。

リンカーン大統領の奴隷制廃止を

支持する北軍、逆に存続を主張する

南軍が戦い、北軍が勝利を占めました。北部は工業に頼り、南部は綿花産業に頼っていましたが、綿花の摘み取りは手作業によらざるを得なかったために、南部の農場主にとっては黒人奴隷の労働力が必須とされていたのです。

今日のアメリカに共和党、民主党の二大政党が存在するのもここに由来します。北軍が共和党、南軍が民主党です。南北戦争は両軍合わせて六十二万人の死者が出るという凄惨な闘いとなりました。「風と共に去りぬ」はこの時代を南部の目で描いています。

さて、「八重の桜」冒頭の場面は、南北戦争終結後に、この戦争で使わ

れ、アメリカにあふれていたライフ

ル銃などの新式武器が日本に輸入さ

れ（武器商人に売りつけられたの

ですが）、日本の内戦「戊辰戦争」

（一八六八―一八六九）で使われた

という事情を説明するための場面で

した。アメリカの南北戦争がなけれ

ば、幕府側・朝廷側の内戦もこんな

姿を取ることにはなかったというので

しょう。

坂本龍馬がピストルを持っていて、

慶応二年（一八六六）の寺田屋事件

の際に、捕り手の包囲網を切り開い

て脱出したことはよく知られていま

す。この時、役人の一人が射殺され

たと言われています。福岡藩出身の

勤王家平野国臣もピストルを所持し

ていました。いずれも西部劇で見覚

えのあるような拳銃（スミス・アン

ド・ウェッソン製、弾倉が回転する

六連発式）です。

映画「ラスト・サムライ」では、

トム・クルーズ演じる主人公が北軍

の大尉で、近代化を進める明治政府

が、反政府軍（西郷軍を彷彿とさせ

ます）を鎮圧するために軍事顧問と

して招くという設定になっています。

史実はともかく、歴史的な流れと

してはありうる設定でした。渡辺謙

演じる反政府軍リーダーの勝元が、

闘いに敗れ、桜吹雪の中で絶命する

間際、「パーフェクト！（完璧だ）」

と言ったのが心に残りました。

西行法師が理想の死とした歌「願

わくば 花の下にて春死なん その

望月の 如月の頃」と響き合ってい

たからです。望月は旧暦十五日の月

（満月）、如月は旧暦の二月で、現在

の暦なら三月ごろを言います。桜の

花が咲く期間は短いために、潔く、

未練を残さない武士の感性と重なる

ものがあつたのでしよう。

一九六一年―一九六二年にかけて

放映されたテレビドラマ「ブロンコ」

は、馬に乗って西部の町々をさまよ

う主人公ブロンコが、南北戦争終結

後も南軍の制服を身に着けているの

が印象的でした。まさに西部開拓の

時代が始まったのです（一八六〇年

代―一八九〇年）。

このように、「南北戦争」と「戊

辰戦争」（西南雄藩と東北諸藩へ

奥羽越列藩同盟）の闘い：日本の

「南北」戦争！、アメリカと日本の、

内戦から統一への過程が、近接して

あるいは並行して動いていたことにな

ります。

『亜米利加土産』ではアメリカ移

民を三期に分けています。

第一期 明治元年―同十八年

第二期 明治十九年―同三十三年

第三期 明治三十四年―大正四年

明治元年（一八六八）は日本では

戊辰戦争の続いていた時期、アメリ

カでは南北戦争終結の三年後です。

明治四年には廃藩置県によって中

央集権化が進み、岩倉具視を代表と

する岩倉使節団が太平洋を越えてア

メリカへと向かいます。木戸孝允

（桂小五郎）、大久保利通、伊藤博文

らが随行し、満六歳の津田梅子を含

む大勢の留学生も同行していました。

まずサンフランシスコに寄港します

が、ゴールドラッシュの影響で海は

土色に濁っていたと言われます。

※戊辰戦争は慶応四年・明治元年

（一八六八）が十千十二支で戊辰

（つちのえたつ・ぼしん）に当た

ることから付いた名前です。